

月刊 **がんばろうニッポンの中小企業**
Small and Medium Enterprises in Japan, go for it!!

平成27年4月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻475号第29巻第11号

ビジネスサミット

Monthly Business Summit

2015 May **5**

【特集】

正念場の リーダーシップ



【巻頭対談】

清成 忠男

事業構想大学院大学 学長



元気のヒントここにあり!!

03 豊橋百農人

東三河の農産物をPR

地域の農業に 横のつながりを

自分たちの取り組みをもっと外へ発信しよう!
そんな想いを抱えた愛知県東三河地域の農業従事者が
『豊橋百農人（愛知県豊橋市）』として集結。
地域の農業を応援したいという人たちとタッグを組み、
さまざまな農作物を産出する
東三河地域のブランド構築に挑戦している。



多様な農作物を 産出する地域

愛知県は農業産出額全国6位[※]と、農業が盛んな県。なかでも豊橋市や隣接する田原市を含む東三河地域は、温暖な気候により柿やイチゴ、お茶、レモンなど、70種類以上のさまざまな農産物がとれる豊かな地だ。

「それぞれ別の農産物をつくっている人たちが、この多様性を活用することで補強し合い、強みにできるのではないか——。それが豊橋百農人（以後、百農人）の出发点になった」。こう

語るのは、立ち上げから参加し、現在代表を務める鈴木義弘氏だ。

百農人は、前代表の河合浩樹氏と、事務局を担当している清水貴裕氏が知り合い、意気投合したところから始まった。河合氏は、誰かに販売を委託するのではなく「自分でつくったものを自分で売りたい」と、独学でウェブの仕組みを学び、販売を行っていた。だが「独学では限界がある」と感じていたとき、ウェブサイトの制作や広告を手がける清水氏と出会った。農業

※農林水産省 平成24年作物統計



農家同士の横の連携を強め情報交換で切磋琢磨する



豊橋百農人 鈴木義弘代表
「何年後かには『百農人』の名のとおり、100人の農家が集まり切磋琢磨できる団体を目指したい」

百農人は、事務局が設定した100以上の基準をクリアした人がメンバーとして認められる「認定制度」をとっている。「自身の農産物をPRできるウェブサイトを持っていることが最低条件」と鈴木氏は言う。「自分たちの取り組みを発信したい」という強い意志を持つ人の集まりでありたいという考えからだ。

自ら積極的に動く「農人」

「東三河の農業を活性化したい！」そんな想いで意気投合した二人は、同じ志を持つ仲間を募り、百農人を生み出したのだ。

また、年に2回、「百農人を応援する」と手を挙げたサポーターからの評価と、自己評価による採点がなされ、順位付けが行われる。評価の詳細は点数と共にチャート図になってウェブサイトで公開。誰もが見ることでできる。生産者だけでなく事務局のメンバーも評価の対象となっており、事務局の点数を基準にそれを上回る人は1部、下回ったら2部とリーグ制を採用。お互いがどう評価されているかを見て刺激を受け、より活発に活動できる仕組みだ。

また、百農人の大きな役割の一つに「違う生産者同士の情報交換」がある。「農業」と一括りにすると、同じ知識を持った人の集まりのようだが、実は、生産物が違えば持つ知識は違う。「同じ作物をつくる小さな集団の中で考えていても、新たな発想は生まれてこない」（鈴木氏）。異なる農産物の情報やノウハウを共有することで、地域の農業全体の活性化を図るのだ。

「百農人」ブランドを

百農人が誕生したのは、2009年のことだ。14年には5周年を記念し、独自でイベントを開催した。農産物を販売するマルシェや、地元の農産物を使った食べ物を提供。ウナギのつかみ取りや柿の種とばし大会など、大人から子どもまで楽しめるイベントは、多くの人が参加し、好評を博した。

「今後は、こうした独自イベントにも力をいれていく」（鈴木氏）。こうしたイベントを行うことで、地元の人たちに百農人の名前と活動を認知してもらい、ブランドを浸透させる構えだ。

百農人では、メンバーのことを「農人」と呼ぶ。「農」の横に「人」がついている「農」という字を使うことで、産地だけでなく生産者にも焦点を当て、互いに認め合い、切磋琢磨し合う生産者を「農人」として認定するという意志を現している。現在、事務局も合わせて百農人として認定されているメンバー

は17人。「この活動が自己満足にとどまらず、百農人に参加することが、生産者や事務局メンバーの収益拡大につながるようにしたい」と鈴木氏。

農人それぞれが、自分たちのつくる農産物を自分たちでPRしていきながら、同時に「豊橋百農人」ブランドを育んでいく。



月1回の会議に集まったメンバーたち。柿やイチゴなどの果物から、米やお茶まで、東三河地域のさまざまな農産物をつくる生産者が集結

Company Profile

豊橋百農人
愛知県豊橋市西幸町字浜池333-9
豊橋サイエンスコア308
豊橋百農人事務局(株式会社都デザイン内)
0532-48-5980
メンバー 17人
<http://e-arcade.jp/100noujin/>